

宇土市の未来のために 復興を目指して全力投球

●プロフィール

- 1965. 3 三角町の農家の末っ子として誕生
- 1983. 3 熊本県立宇土高等学校卒業
- 1987. 3 熊本商科大学商学部卒業
- 1991. 4 営業マン等を経て宇土市職員に（26歳）
- 2002.12 自治大学校第Ⅱ部課程修了
- 2005. 9 著書「The 市役所改革～現役職員も物申す！」出版
- 2009.12 総務課人事・行政係長等を経て退職（44歳）
- 2010. 4 宇土市長就任（45歳）
- 2014. 4 宇土市長2期目就任（49歳）

- 公職 宇土市社会福祉協議会会長
熊本県市町村社会福祉協議会連合会会長
上天草宇城水道企業団企業長
宇城広域連合副連合長（ほか）

- 住所 宇土市南段原町
- 家族 妻・長女・次男・妻の母の5人家族
- 趣味 スポーツ観戦・ボウリング・料理・パソコン
- 座右の銘 「進取敢為」



も と ま っ

元松しげき

無所属

53歳

ローカル・マニフェスト（選挙公約）

市長 3 期目のローカル・マニフェスト（選挙公約）として掲げる項目です。

市長 2 期目までの実施事業で、一定の効果がみられる事業に関しては原則として暫定的に継続し、効果検証の上で継続・中止、あるいは拡充・縮小を決定します。

1. 熊本地震からの早期復興

被災された皆さんの自立サポート、最大 85.5%の国助成を用いた被災公共施設の再建修理（市本庁舎再建[2022 年春]・中央公民館再建[2019 年春]・立岡体育館修理・中央公民館分館修理・入地団地 1 号棟修理など）、災害公営住宅の整備（境目町に 25 棟建設、木造応急仮設住宅 26 棟の転用）、花園台・神馬町の造成宅地の公費復旧、農地復旧助成事業、中小企業借入金利子助成、被災公民館等の修理助成、被災消防ポンプ車格納庫等の公費再建、船場橋解体修理等文化財の復旧（ほか

※ 震災関連事業については、現在着手済み又は準備中の事業は原則として事業が完了するまで継続して取り組みます。

2. 人にやさしいまちづくり

保育園中途入所待機の解消、特別支援・ICT 教育の充実、放課後児童クラブの充実、文化・生涯学習活動の環境整備、船場川調整池周回ランニングコースの整備、高齢者支援の充実、地域おこし協力隊を活用した介護予防事業の充実（ほか



3. 豊かで稼げるまちづくり

ふるさと納税制度による物産振興、中心市街地解体空地活用事業、鳥獣被害防止対策強化、特定農業作物生産支援、海苔養殖・採貝事業の支援、西部地域民泊開業推進（ほか

4. 安全安心なまちづくり

通学路の安全対策、船場川・網津川下流排水機場強化整備事業、河川監視の強化、都市計画道路南段原線の延伸、多目的防災広場（立岡・五色山・網田島山ほか）・網田防災センターなど多目的避難施設の整備促進、国県事業の継続推進（高潮対策、地域高規格道路、潤川・網津川改修、北部・南部農免道路、網津バイパス等）ほか

5. 未来につながるまちづくり

土地利用の見直しの検討（宇土シティモール～パワーコメリ周辺一帯、城塚インター周辺）、農地・水路の再整備、轟泉水道の国文化財指定・御輿来海岸の日本遺産指定推進（ほか

※ この項目は宇土市の将来的な発展につながるものとして、長期的視点から事業の検討（方向性の決定）を行うものです。

6. 市民の声を活かすまちづくり

総合計画（2019～2026）策定にかかる市民座談の開催、市長との「ふれあい座談会」・「ランチトーク」の継続開催（2 期目では 70 回以上の開催実績）、市長への直行便制度等により、市民の皆さんの声を市政に反映させられるよう努めます。

元松茂樹後援会

後援会長：米谷正勝

所在地：〒869-0421 熊本県宇土市南段原町 152

TEL：0964-26-1155 FAX：26-1166 E-mail：office_motomatsu@yahoo.co.jp

URL：http://motomatsu.ikidane.com/ facebook アカウント：「元松茂樹」